

平成28年度 第2回北名古屋市男女共同参画審議会 結果概要

- 1 日時 平成29年3月16日（木曜日）午後1時30分から午後2時35分まで
- 2 会場 北名古屋市役所西庁舎 3階 302会議室
- 3 出席者 15人

<委員10人(2人欠席)、市長、総務部長、事務局：市民活動推進課長以下3人>

- 4 傍聴人 なし

- 5 議題など

- (1) 市長あいさつ
- (2) 平成28年度北名古屋市男女共同参画推進事業報告について
- (3) 北名古屋市男女共同参画意識調査結果について

- 6 会議概要

- (1) 平成28年度北名古屋市男女共同参画推進事業計画について

○ 事務局から資料1に基づき説明。

○ 委員協議

<委員>

職員研修アンケートの中に待機児童について書かれているが、今現在、待機児童はいるのか。

<事務局>

現在の待機児童数は把握していない。4月の段階では0人だとしても、自宅からの小規模保育所までの距離が遠いことや、兄弟で同じ保育園に通わせたいといった希望から待機となる子どもがいる可能性がある。

<委員>

待機児童についてアンケートに書かれるということが気になった。また、他の職員研修アンケートに、3歳児神話について書かれており、職員（学校の教員）が3歳児神話について知らないことがショックだった。

<委員>

アンケートに書かれるということは、3歳児神話という考え方が学校の教員にも

残っているということか。

<委員>

話が変わるが、セミナーなどでDVについて取り組んでいると思う。男性のDVについてはどこに相談したらよいか。できたら下の目線ですぐに相談できる場所はあるのか。男性が受けるDVも増えてきているが、どうしたらよいか。

<事務局>

庁内DV対策会議を昨年度から行っており、基本的に家庭支援課が担当、高齢者のDVは高齢福祉課が担当している。ケースによって学校教育課や社会福祉課などが関わってくることもあり、状況に応じて対応している。

<委員>

では最初にどこに行けばいいのか。

<事務局>

男性が女性からDVを受けた場合、仕返すと男性側の立場が悪くなる。男女関係なく暴力行為によって怪我をすれば警察が介入するが、起訴するかしないかでは内輪で話し合うことに落ち着く。現実的に女性の方が警察に行きやすく、男性は行きにくい。どうしたらよいか、どこに行けばよいか、男女関係ないが、中々男性に奨めにくい現状がある。

<事務局>

DV相談窓口案内リーフレットを男性トイレにも設置している。市民活動推進課に問合せしてもらえるよう記載してある。

<委員>

高齢者は包括支援センターで案内を受けられるように、高齢者以外の人への案内をする窓口が必要。

<事務局>

最初の案内は市民活動推進課が担当している。高齢者以外の案内は難しいケースもある。

(2) 北名古屋市男女共同参画意識調査結果について

○ 事務局から資料2及び資料3に基づき説明。

○ 委員協議

<委員>

「男は仕事、女は家庭」という考え方について、前回の調査と比べて市民や大学生は反対が増えているが、中学生は賛同が多くなっている。それを踏まえた新しい意識調査をさらに行う等考えているか。

<事務局>

今後の予定として、さらに新しい意識調査を行う計画はない。

<事務局>

現在、集計後の評価まで行った。今後分析を行い、その分析をもとに次期男女共同参画プランを策定する。

<委員>

推測だが、学校で教育を受けているが中学生も建前と本音があり、母親もパートで家に両親がいない家庭が増えている環境、「小学生の時に親が家にいない寂しさ」から、親に家にいて欲しいという本音がアンケートに反映した可能性があるか。また、放課後児童クラブなどが、利用を希望する子ども数に追いついていないか。今後、そういった子どもへの支援が必要である。

<事務局>

どうしていけばよいのか社会的な背景も分析し、プラン作成の中で考えていく。

<委員>

調査結果に北名古屋市の生活が反映されていると感じた。

<委員>

他に意見や質問はあるか。

<委員>

自治会の餅つき会に参加し、レクリエーションを行った。配膳の際、自然と小学生の女の子に地域の人が依頼し、女の子も自然と動いていた。学校教育の場では男女平等が進んでいるかもしれないが、社会通念としては中々進んでおらず、その結果が自然とアンケートに反映している。

<委員>

地域の偉い人が仕切る場面では男女の役割意識がまだまだ残っている。

<委員>

学校の表面的なカリキュラムの中では男女平等を指導しているが、隠れた見えないカリキュラムの中で男女の役割意識が残っている。北名古屋市は近隣地域と比べて多少強い傾向がある。職員研修のアンケート結果にも性別役割意識の問題が挙げられている。名古屋市では政治が問題意識という結果だが、北名古屋市では地域や周囲の意識の方が問題だという結果がでている。地域の問題が解消すれば政治へ意識が向くのではないか。

<委員>

プラン作成時に、背景や隠れた問題などあり難しいと思うが、次のプランでは、男女共同参画が進んだと思えるような、市民の方々が分かりやすい次期男女共同参画プランを作ってほしい。

<事務局>

来年度から業者に依頼しプラン作成を進めていく。業者選定にあたり、方法が2種類ある。1つ目は、入札により安い金額業者を選ぶ方法、二つ目は予算額の範囲内で策定支援方法を業者に提案してもらい、その内容を審査して決めるプロポーザル方式という方法。これから手続きしていく。

<委員>

多少お金がかかっても、市民の方に実行していってもらえるプランを作ってもらうためにより業者を選んでもらえるよう、よろしく願いいたします。

→プロポーザル方式に決定

<委員>

企業にも40%以上アンケート調査に協力して頂け、感謝したい。中小企業が男女共同参画に取り組むことが難しいところである。その中、年次休暇の取得を企業が頑張っていることは素晴らしいと思う。

<事務局>

今日の意見を次につなげるようプラン策定に向けて進めていく。

<閉会 午後2時35分>